



ご挨拶

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

レッドホースグループの代表として、私自ら先頭に立ち走り続け、Redhorse Corporationは台湾上場だけでなく、レッドホースグループの中核をも担う存在となりました。これもひとえに皆様のご支援ご協力の賜物であると存じ、あらためて感謝申し上げます。

これからも現状に甘んじることなく更なる発展を遂げていくために、私なりに今後について熟考した結果、私周は持株会社であるRedhorse Corporationの董事長職に専念し、日本法人であるレッドホースコーポレーション株式会社を川崎及び宮本という英気と才能溢れる若きリーダーに託すことがご支援いただく皆様の恩に報いる最善の路であるという結論に至り、この度兩名を代表取締役 に据え、経営を委ねることに致しました。

私としても従前どおりレッドホースコーポレーション株式会社の発展を厳しくも温かく見守るとともに、今後ともご支援下さる株主の皆様はじめ、ご愛顧いただく全てのお客様に対する責任は果たしていく所存でございます。

我々はこれからも市場創造を実現するため果敢に挑戦してまいります。どうか皆様におかれましては、これまで以上にレッドホースコーポレーション株式会社をお支えいただきますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

平成30年1月吉日

レッドホースグループ 代表

Redhorse Corporation 董事長

周 泰鳳



経営体制変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社におきましては皆様方にご支援をいただき、おかげさまで昨年、創立50年を迎えることができました。また、一昨年台湾上場企業となって以来、これまでにない多くの機会に恵まれるようになってきた中で、現在の延長線にとどまらない飛躍を実現すべく、平成30年1月1日付をもちまして、弊社の経営体制の変更を行いましたので、ここにご案内申し上げます。

芸道の「守・破・離」で言うところの「破」に弊社は挑戦いたします。すなわち、我々の魂である「レッドホース文化」を守りながら、時代と企業のステージに合った経営のあり方を柔軟に追求していきます。つきましては決意新たに、既存の常識にとらわれることなく世の中を捉え、国内外の横断的な「市場創造」の加速に挑み、今後とも社業発展のため一層の努力を致す所存でございます。

今のわたくしでは力が及ばない部分もあるかと思いますが、努力を惜しまず精進していく覚悟でございます。今後も会社の発展のために力を尽くしていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます。

謹白

平成30年1月吉日

レッドホースコーポレーション株式会社

最高経営責任者

代表取締役会長

川崎 貴聖

2018年度経営体制

代表取締役

取締役会議長

川崎 貴聖

代表取締役

執行役員(兼務)

宮本 隆温

社外取締役

廣田 正

(前田建設工業株式会社社友)

社外取締役

菱田 哲也

(ジェムアソシエイツ株式会社 代表取締役)

社外取締役

福羽 泰紀

(株式会社スイッチ・メディア・ラボ 代表取締役)

常勤監査役

齋藤 通

2018年度執行体制

最高経営責任者

会長(兼務)

川崎貴聖

全体戦略会議議長
人創り本部長
M&A推進本部長

最高執行責任者

社長執行役員(兼務)

宮本隆温

執行役員会議長
コーポレート本部長
全体戦略会議副議長
レッドホース文化推進会議議長

常務執行役員

久秋貞雄

営業統括本部長
地域活性化推進担当
人創り副本部長
M&A推進副本部長
レッドホースプルード株式会社代表取締役社長

常務執行役員

渡邊 崇

エデュテインメント事業本部長
新規事業推進担当
レッドホース文化推進会議副議長
レッドホースエデュテインメント株式会社代表取締役社長

執行役員

廣瀬 陽子

マーケティング本部長・広報室長(兼務)
ダイレクトマーケティング推進担当
EC戦略担当
パワーブランド戦略担当

※最高戦略責任者 周泰鳳は2017年12月末をもって退任しました